

Outline: Kanzaki archaeological site in Ayase City, Kanagawa Pref., is a ditch-enclosed settlement from the Yayoi period, which dates back to about 1800 years ago. The site was designated as a National Historic Site in February of 2011 for its well-preserved condition as well as for its indication of the immigration from the Tokai to the Kanto region during the Yayoi period. Ayase City opened "Kanzaki Iseki Shiryō-kan", a ruins museum, in May of 2016, where the relics excavated from Kanzaki site and other historical materials of Ayase City are on permanent display.

Hours: 9 a.m. to 5 p.m.

Closed: Monday (the next day if Monday is a public holiday)
December 29 to January 3

Entrance Fee: none

Transportation: *Bus from Ebina station bus terminal, bus "長16" for the west exit of Chougo station"長後駅西口行き", getting off at the Neonma "根恩馬" stop. About 15 minutes.

*Bus from Ebina station bus terminal, bus "綾22" for the Hamakyorex "ハマキョウレックス", getting off at the Hamakyorex "ハマキョウレックス" stop. Then, walk from the stop to the destination about 5 minute. In total about 15 minutes.

*Bus from Chougo station bus terminal, bus "長16" for the east exit of Ebina station"海老名駅東口行き", getting off at the Neonma "根恩馬" stop. About 20 minutes.

*Bus from Ayase city hall bus terminal, the number 5 community bus of Ayase city for the Kouza indoor heated pool "高座屋内温水プール", getting off at the Kanzaki ruins "神崎遺跡前". About 25 - 30 minutes.

Kanzaki ruins museum: Address:3425-5 Yoshioka,Ayase City,252-1124
Telephone,Fax:0467-77-0841

《来館記念スタンプ》

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
※時期により開館時間を変更することがあります。

休館日 月曜日(祝日にあたるときはその翌日)
1月1日～3日および12月29日～12月31日

入館料 無料

- 交通案内**
- 海老名駅バスターミナルから
長16長後駅西口行で「根恩馬」バス下車すぐ
(所要時間約15分)
綾22ハマキョウレックス行で「ハマキョウレックス」バス下車徒歩5分(所要時間約15分)
 - 長後駅バスターミナル
長16海老名駅東口行で「根恩馬」バス下車すぐ
(所要時間約20分)
 - 綾瀬市役所バスターミナルから
綾瀬市コミュニティバス5号車高座屋内温水プール行で「神崎遺跡前」バス下車すぐ
(所要時間約25分から30分)

※駐車場の台数が限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



綾瀬市神崎遺跡資料館
〒252-1124 神奈川県綾瀬市吉岡 3425 番地5
TEL・FAX 0467-77-0841
発行：綾瀬市教育委員会 生涯学習課

綾瀬市
神崎遺跡資料館



綾瀬市教育委員会

概要

平成元年に市史編集事業の一環として、市内の弥生時代の資料を収集するため、発掘調査が実施されました。その結果、弥生時代後期（今から約1,800年前）の環濠集落（周囲に溝を巡らしたムラ）の存在が明らかになりました。

神崎遺跡から出土した土器のうち95%以上が東海地方の土器の形態に酷似し、住居跡もその影響が見られました。

国家が成立する前夜という社会が揺れ動く時期に、東海地方の人々が200km以上の距離を集団で移住していた事実を示す遺跡であること、集落全体がほぼ完全な形で残っていることから、平成23年2月7日、神崎遺跡は国指定史跡となりました。

綾瀬市では、国指定史跡神崎遺跡を通じて、綾瀬の歴史や文化を学んでいただくため、平成28年5月1日に神崎遺跡資料館を開館しました。

この資料館では、綾瀬の歴史展示等を行う1階展示室と神崎遺跡を中心とした2階展示室を設け、神崎遺跡の普及・啓発・活用を図り、学校等の学習支援を行っていきます。

【建物規模】 地上2階建て、延床面積（約360㎡）
鉄筋コンクリート造

【1階施設】 綾瀬の歴史等の展示（約50㎡）

【2階施設】 神崎遺跡の展示（約100㎡）

体験学習・講演会

各種体験学習（まが玉作り教室、火おこし教室、土器作り教室、クッキーの土器作り教室、弓矢教室など）や、講演会を行います。

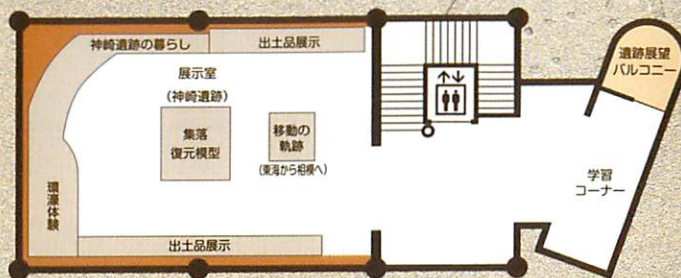
■まが玉作り教室は、事前に申し込みをいただければ随時体験することができます。その他の体験学習、講演会の開催日時はお知らせします。

※体験学習は、材料費がかかります。

※詳細については、資料館までお問合せください。



2階平面図



出土土器



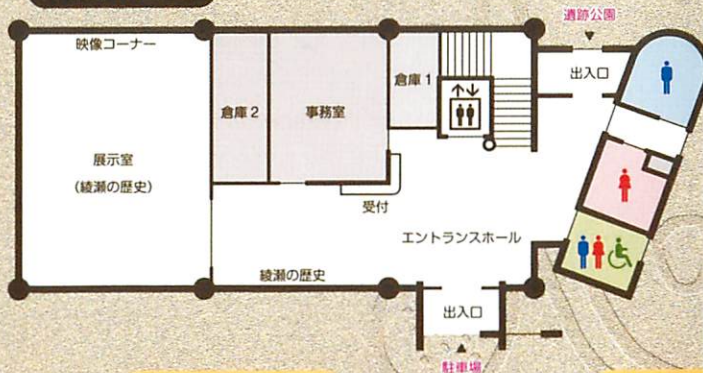
神崎遺跡の暮らし



環濠体験



1階平面図



綾瀬のあゆみ



綾瀬の歴史



綾瀬と神崎遺跡紹介



神崎遺跡は、南北103m、東西65m、面積5,000㎡ほどの弥生時代後期のムラで、まわりを深さ約2mの溝で囲まれた環濠集落です。当時の人たちがどのように東海地方から移住してきたのか、どのような暮らしをしていたのかを学ぶことができます。

綾瀬の地に初めて人が住み始めた頃から現代に至るまでの歴史を楽しく学ぶことができます。また、映像コーナーで綾瀬の歴史と神崎遺跡を紹介しています。